

地域の特色

本学の立地する新見地域は、岡山県の北西部に位置し、鳥取県と県境を接する中山間地域に立地している。人口は、新見市33,870人(平成22年国勢調査)である。いずれも高齢化が顕著(高齢化率36.4%:平成25年10月現在)で、人口が減少傾向にある中山間の過疎地域である。

一方、中国地方を縦貫する中国自動車道と山陽と山陰を結ぶ幹線鉄道であるJR伯備線がとおり、南部の岡山市まで特急列車または自動車(高速道路経由)で約1時間、岡山空港まで自動車(高速道路経由)で約1時間、岡山市を経由して大阪まで約2時間(鉄道)、新見から大阪までの直行バスが運行されるなど、交通アクセスには比較的めぐまれている。

大学の概要

公立大学法人新見公立大学(以下「本学」)の前身は、岡山県新見市および阿哲郡(両者をあわせて阿新地域という)内の4町(大佐町、神郷町、哲多町、哲西町)で設立した阿新広域事務組合が設置した公立の短期大学である。その後2004年度に地域看護学専攻科(保健師養成の1年課程)を設置、さらに阿新広域事務組合が設置する形態から、2005年度に1市・4町の合併によって新見市立に移行した。

本学は、1980年に看護学科(三年制;入学定員50人)および幼児教育学科(二年制;入学定員50人)の新見女子短期大学として設立された。その後1986年に看護学科の定員が60人に増員され、1996年に地域福祉学科(二年制;入学定員50人)が増設された。1998年には、看護学科および幼児教育学科の男女共学化(地域福祉学科は翌年)にともない、短期大学名が変更されて、新見公立短期大学となった。さらに2008年公立大学法人化、2010年新見公立大学看護学部を設置、2014年大学院看護学研究科を開設し、現在に至っている。

看護学部は、看護師・保健師の養成を主たる目的とし、卒業時に看護師・保健師国家試験の受験資格が得られる。幼児教育学科は、保育者の養成を主たる目的とし、卒業時に保育士登録資格を取得し、所定の単位を修得することにより幼稚園教諭2種免許状を得ることができる。地域福祉学科は、介護福祉士の養成を主たる目的とし、あわせて介護される人の生活環境・基盤としての地域の文化を学ぶことを目的としている。卒業時に介護福祉士登録資格および社会福祉主事任用資格が得られる。

調査の概要

1. 調査主体

学生生活委員会および前任の学生生活委員によって調査内容の検討を行い、集計した。

2. 調査目的

学生の生活の実態を調査することにより、正課教育および正課外教育の改善、学生生活の環境整備、大学運営および本学の将来計画の基礎資料とすることを目的として実施した。この調査は大学の自己点検・評価の一環として実施されたものであり、学生生活全般にわたる公式の調査は2002年度、2006年度に次いで3回目である。

3. 調査対象および方法

本調査は、本学に在籍する学生のうち、休学者を除いた472人全員を対象として実施した。実施については学生生活委員が調査主旨の説明と配布、回収を行った。調査票は無記名で記入し、封筒に封入して提出すること、回答および提出は学生の自由意志によるものであって強制ではないこと、調査票を提出しなかったことまたは記載内容によって学生が不利益を受けることがないことを口頭で説明し、文書で明示して実施した。今回、マークシートによって実施した。プライバシー保護の観点から学生数が少ない大学院生(5人)については、調査対象としなかった。

4. 調査内容

2006年度の第2回調査の結果を踏まえるとともに、他委員会で実施している調査内容を省いて実施した。その内容は、住居の様態、通学の様態、アルバイト、生活の状況、課外活動に関する事項、生活費および奨学金、地域に関する意識の多岐にわたった。該当学生数が少なく、個人が特定されるおそれのある項目については、調査項目から除外し、または他の項目と合計して集計するなど、プライバシーに対する配慮を優先した。

5. 調査日

2014年10月1日を調査日として実施した。

6. 調査票の回収状況

調査票472通のうち449通が回収され、回収率は95.1%と高い回収率であった。

7. 今後の課題

学生の実態を的確に把握するには、今回の調査結果を基礎に、今後定期的に調査を実施することが必要であると考えられる。